



平成25年11月14日

各位

株式会社雪国まいたけ  
代表取締役社長 大平 喜信  
(コード番号 1378 東証第2部)  
問合せ先 取締役兼執行役員  
管理本部長 吉川 博志  
(TEL. 025-778-0111)

**(訂正) 「平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」  
の一部訂正について**

平成24年8月3日付「平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」について訂正がありましたのでお知らせいたします。

1. 訂正の経緯

訂正の経緯につきましては、平成25年10月25日付「不適切な会計処理が行われていた可能性についてのお知らせ」および平成25年11月5日付「社内調査委員会の調査報告書の受領及び当社の対応について」にて開示しておりますので、ご参照ください。

2. 訂正内容

訂正箇所には下線を付して表示しております。

以上

【訂正後】



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年8月3日

上場会社名 株式会社 雪国まいたけ 上場取引所 東  
 コード番号 1378 URL <http://www.maitake.co.jp/>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 大平 喜信  
 問合せ先責任者（役職名） 取締役兼上席執行役員管理本部長（氏名） 海野 光夫 TEL (025)778-0111  
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	5,210	4.2	<u>△1,152</u>	—	<u>△1,362</u>	—	<u>△824</u>	—
24年3月期第1四半期	4,998	△5.8	△1,686	—	△1,853	—	<u>△1,097</u>	—

（注）包括利益 25年3月期第1四半期 △793百万円（－％） 24年3月期第1四半期 △1,058百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
25年3月期第1四半期	<u>△23</u>	13	—	—
24年3月期第1四半期	<u>△30</u>	32	—	—

（2）連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
25年3月期第1四半期	<u>39,563</u>		<u>1,744</u>		<u>4.2</u>
24年3月期	<u>39,503</u>		<u>2,672</u>		<u>6.6</u>

（参考）自己資本 25年3月期第1四半期 1,679百万円 24年3月期 2,606百万円

2. 配当の状況

	年間配当金							
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
24年3月期	—	—	0	00	—	—	10	00
25年3月期	—	—	—	—	—	—	—	—
25年3月期（予想）	—	—	0	00	—	—	10	00

（注）1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2 24年3月期期末配当金の内訳 普通配当 4円00銭 記念配当 6円00銭

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期（累計）	12,800	25.1	△1,250	—	△1,680	—	△1,000	—	△28	07
通期	32,500	24.8	2,100	—	1,250	—	850	—	23	86

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注)詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 有

③ 会計上の見積りの変更： 有

④ 修正再表示： 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	38,890,375株	24年3月期	38,890,375株
25年3月期1Q	3,259,473株	24年3月期	3,259,453株
25年3月期1Q	35,630,918株	24年3月期1Q	36,202,801株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
(6) 重要な後発事象 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要により一部持ち直しの動きが見られたものの、欧州債務危機の再燃や円高の長期化、電力供給の制約など先行き不透明な状況が続き、個人消費は依然として低調なまま推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは、放射能影響による消費者の食への「安全・安心」への関心の高まりに対し、前連結会計年度より導入いたしました放射性物質検査の自主検査基準値をより厳しいものにし、「自分が口にしたくないものは、つくらない、出荷しない」という当社の創業以来の理念のもと事業を行ってまいりました。また、遅れておりましたぶなしめじの量産化につきましては、本年1月になりようやく量産に向けた生産体制が整い、売上高の増加に繋がりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は52億10百万円（前年同四半期比4.2%増）、営業損失は11億52百万円（前年同四半期は16億86百万円の損失）、経常損失は13億62百万円（前年同四半期は18億53百万円の損失）、四半期純損失は8億24百万円（前年同四半期は10億97百万円の損失）となりました。

セグメントの状況は次のとおりであります。

セグメント	連結売上高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
まいたけ	1,542	90.6
えりんぎ	708	93.8
ぶなしめじ	995	167.1
その他生茸	163	87.4
生茸計	3,410	105.2
加工食品	139	90.5
茸計	3,550	104.6
もやし・カット野菜	1,181	105.5
その他食品	277	98.5
食品計	5,008	104.4
その他	202	100.3
合計	5,210	104.2

#### ① 茸

国内の生茸の販売は、個人消費の低迷に加え昨年からの放射能風評被害により、販売状況は厳しい環境の中で推移いたしました。このような環境の中、まいたけ、えりんぎの売上高は減少いたしました。ぶなしめじにつきましては前述のとおり新菌への切り替え、新設備の導入により量産体制が整い、売上高は増加いたしました。

中国におきましては、吉林省長春市で生産・販売するえのき茸は販売方法の変更により売上高は減少いたしました。

以上により、茸の売上高は35億50百万円（前年同四半期比4.6%増）となりました。

#### ② もやし・カット野菜

もやし・カット野菜の販売は、春先の天候不順による野菜高騰の影響や、当社製品の安全性の高さが評価されたことにより、もやし・カット野菜の売上高は11億81百万円（前年同四半期比5.5%増）となりました。

#### ③ その他食品・その他

その他食品においては、前連結会計年度に震災復興需要のあった納豆の売上高が減少となり、その他食品の売上高は2億77百万円（前年同四半期比1.5%減）となりました。

その他の売上高は2億2百万円（前年同四半期比0.3%増）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて59百万円増加し、395億63百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて79百万円増加し、86億4百万円となりました。これは主に、現金及び預金が1億43百万円、商品及び製品が1億47百万円、繰延税金資産が5億59百万円増加し、受取手形及び売掛金が7億99百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて13百万円減少し、309億28百万円となりました。これは主に、有形固定資産（その他）に含まれる機械装置及び運搬具が1億56百万円、同じく有形固定資産（その他）に含まれるリース資産が3億11百万円増加し、建物及び構築物が1億23百万円、有形固定資産（その他）に含まれる建設仮勘定が3億74百万円減少したこと等によるものであります。

負債の部では、流動負債が前連結会計年度末に比べて26億48百万円増加し、193億13百万円となりました。これは主に、短期借入金が34億97百万円増加し、流動負債（その他）に含まれる設備関係支払手形が6億60百万円、同じく流動負債（その他）に含まれる未払金が1億42百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて16億60百万円減少し、185億5百万円となりました。これは主に、社債が3億67百万円、長期借入金が10億74百万円減少したこと等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて9億27百万円減少し、17億44百万円となりました。これは主に、利益剰余金が9億57百万円減少したこと等によるものであります。

### (キャッシュ・フローについて)

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前年同四半期末と比較して86百万円増加し、13億4百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### ①営業活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結累計期間における営業活動による資金は△5億77百万円（前年同四半期比58.2%増）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失△13億70百万円の計上や売上債権の減少額8億11百万円等によるものであります。

#### ②投資活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結累計期間における投資活動による資金の支出は10億10百万円（前年同四半期比57.4%減）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出9億88百万円等によるものであります。

#### ③財務活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結累計期間における財務活動による資金の収入は17億26百万円（前年同四半期比34.5%減）となりました。これは主に、短期借入金の純増加額35億15百万円、長期借入金の返済による支出11億48百万円、社債の償還による支出4億7百万円等によるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月11日付「平成24年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
(税金費用の計算)

税金費用については、「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」第19項の規定により、「中間財務諸表等における税効果会計に関する実務指針」第12項（法定実効税率を使用する方法）に準じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
(有形固定資産の減価償却方法の変更)

従来、当社及び国内子会社は、有形固定資産の減価償却方法について定率法（ただし、平成10年4月1日以後に取得した建物（建物附属設備は除く）と、それに対する資本的支出及びリース資産については定額法）を採用していましたが、当第1四半期連結会計期間より全ての有形固定資産について定額法に変更しております。

この変更は、主要な商品である茸の収穫実績を考慮し、生産数の急激な増減はなく安定的に生産されており、現有する茸生産設備や建物等について維持コストの見直しを行った結果、著しい陳腐化や物理的劣化が発生しにくいことが判明したため、時の経過に応じて均等に償却することがより適正な期間損益を反映できると判断したものであります。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の売上総利益は144百万円増加、営業損失は153百万円、経常損失及び税金等調整前四半期純損失はそれぞれ153百万円減少しております。

(売上計上基準の変更)

従来、当社グループの売上計上基準については、出荷基準を採用していましたが、当第1四半期連結会計期間より着荷基準に変更しております。

この変更は、売上計上に関する確実性を再検討した結果、着荷基準を採用することにより、売上の計上に関し客観性並びに確実性がより高まり、売上の実態をより適切に反映させることができると判断したものであります。

なお、この変更による影響額は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

### 3. 四半期連結財務諸表

#### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,195	1,338
受取手形及び売掛金	2,622	1,823
商品及び製品	1,287	1,434
仕掛品	1,864	1,805
原材料及び貯蔵品	684	760
繰延税金資産	<u>297</u>	<u>857</u>
その他	573	584
貸倒引当金	△1	△0
流動資産合計	<u>8,524</u>	<u>8,604</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	<u>12,986</u>	<u>12,863</u>
土地	<u>6,770</u>	<u>6,766</u>
その他（純額）	7,464	7,514
有形固定資産合計	<u>27,221</u>	<u>27,144</u>
無形固定資産	419	428
投資その他の資産		
その他	<u>3,399</u>	<u>3,454</u>
貸倒引当金	△98	△98
投資その他の資産合計	<u>3,300</u>	<u>3,355</u>
固定資産合計	<u>30,942</u>	<u>30,928</u>
繰延資産	36	29
資産合計	<u>39,503</u>	<u>39,563</u>



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	959	1,018
短期借入金	10,001	13,498
未払法人税等	76	48
引当金	186	39
その他	5,440	4,707
流動負債合計	<u>16,665</u>	<u>19,313</u>
固定負債		
社債	3,600	3,233
長期借入金	14,181	13,106
退職給付引当金	48	53
役員退職慰労引当金	57	—
その他	2,278	2,111
固定負債合計	<u>20,166</u>	<u>18,505</u>
負債合計	<u>36,831</u>	<u>37,818</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,605	1,605
資本剰余金	2,262	2,262
利益剰余金	458	△499
自己株式	△1,514	△1,514
株主資本合計	<u>2,811</u>	<u>1,853</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△8	△17
繰延ヘッジ損益	△30	△80
為替換算調整勘定	△167	△76
その他の包括利益累計額合計	<u>△205</u>	<u>△174</u>
新株予約権	64	63
少数株主持分	1	1
純資産合計	<u>2,672</u>	<u>1,744</u>
負債純資産合計	<u>39,503</u>	<u>39,563</u>

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	4,998	5,210
売上原価	4,820	4,718
売上総利益	178	492
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	98	95
運賃	550	604
報酬及び給料手当	460	359
賞与引当金繰入額	12	6
役員退職慰労引当金繰入額	4	7
雑費	738	571
販売費及び一般管理費合計	1,864	1,644
営業損失(△)	△1,686	△1,152
営業外収益		
受取利息	0	0
デリバティブ収益	—	4
固定資産賃貸料	21	19
雑収入	13	16
営業外収益合計	34	40
営業外費用		
支払利息	136	165
雑損失	65	84
営業外費用合計	201	250
経常損失(△)	△1,853	△1,362
特別利益		
新株予約権戻入益	0	0
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
投資有価証券評価損	2	—
固定資産除却損	1	2
固定資産売却損	8	0
減損損失	6	6
特別損失合計	19	9
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,872	△1,370
法人税等	△793	△546
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,078	△823
少数株主利益	18	0
四半期純損失(△)	△1,097	△824

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	<u>△1,078</u>	<u>△823</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	△9
繰延ヘッジ損益	△23	△50
為替換算調整勘定	40	90
その他の包括利益合計	<u>20</u>	<u>30</u>
四半期包括利益	<u>△1,058</u>	<u>△793</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>△1,083</u>	<u>△793</u>
少数株主に係る四半期包括利益	24	0

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	<u>△1,872</u>	<u>△1,370</u>
減価償却費及びその他の償却費	563	442
賞与引当金の増減額(△は減少)	△195	△147
減損損失	<u>6</u>	<u>6</u>
支払利息	136	165
売上債権の増減額(△は増加)	354	811
たな卸資産の増減額(△は増加)	18	△158
仕入債務の増減額(△は減少)	△162	△25
その他	55	<u>△85</u>
小計	<u>△1,097</u>	<u>△361</u>
利息の支払額	△124	△153
法人税等の支払額	△159	△34
その他の支出	△1	△28
営業活動によるキャッシュ・フロー	<u>△1,382</u>	<u>△577</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,359	△988
その他	△11	△22
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>△2,370</u>	<u>△1,010</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	4,349	3,515
長期借入れによる収入	—	40
長期借入金の返済による支出	△998	△1,148
社債の償還による支出	△277	△407
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△325	△91
その他	△113	△180
財務活動によるキャッシュ・フロー	<u>2,634</u>	<u>1,726</u>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	<u>△1,126</u>	<u>138</u>
現金及び現金同等物の期首残高	2,344	1,165
現金及び現金同等物の四半期末残高	<u>1,218</u>	<u>1,304</u>

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象  
該当事項はありません。

【訂正前】



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年8月3日

上場会社名 株式会社 雪国まいたけ 上場取引所 東  
 コード番号 1378 URL <http://www.maitake.co.jp/>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 大平 喜信  
 問合せ先責任者（役職名） 取締役兼上席執行役員管理本部長（氏名） 海野 光夫 TEL (025) 778-0111  
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	5,210	4.2	<u>△1,207</u>	—	<u>△1,416</u>	—	<u>△851</u>	—
24年3月期第1四半期	4,998	△5.8	△1,686	—	△1,853	—	<u>△1,091</u>	—

（注）包括利益 25年3月期第1四半期 △820百万円（—） 24年3月期第1四半期 △1,052百万円（—）

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
25年3月期第1四半期	<u>△23</u>	91	—	—
24年3月期第1四半期	<u>△30</u>	15	—	—

（2）連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
25年3月期第1四半期	<u>40,570</u>		<u>3,213</u>		<u>7.8</u>
24年3月期	<u>40,484</u>		<u>4,169</u>		<u>10.1</u>

（参考）自己資本 25年3月期第1四半期 3,147百万円 24年3月期 4,102百万円

2. 配当の状況

	年間配当金						
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計		
	円	銭	円	銭	円	銭	
24年3月期	—	—	0	00	—	10	00
25年3月期	—	—	—	—	—	—	—
25年3月期（予想）	—	—	0	00	—	10	00

（注）1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2 24年3月期期末配当金の内訳 普通配当 4円00銭 記念配当 6円00銭

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期（累計）	12,800	25.1	△1,250	—	△1,680	—	△1,000	—	△28	07
通期	32,500	24.8	2,100	—	1,250	—	850	—	23	86

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 4 「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 4 「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	38,890,375株	24年3月期	38,890,375株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年3月期1Q	3,259,473株	24年3月期	3,259,453株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	35,630,918株	24年3月期1Q	36,202,801株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
(6) 重要な後発事象 .....	10



## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要により一部持ち直しの動きが見られたものの、欧州債務危機の再燃や円高の長期化、電力供給の制約など先行き不透明な状況が続き、個人消費は依然として低調なまま推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは、放射能影響による消費者の食への「安全・安心」への関心の高まりに対し、前連結会計年度より導入いたしました放射性物質検査の自主検査基準値をより厳しいものにし、「自分が口にしたくないものは、つくらない、出荷しない」という当社の創業以来の理念のもと事業を行ってまいりました。また、遅れておりましたぶなしめじの量産化につきましては、本年1月になりようやく量産に向けた生産体制が整い、売上高の増加に繋がりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は52億10百万円（前年同四半期比4.2%増）、営業損失は12億7百万円（前年同四半期は16億86百万円の損失）、経常損失は14億16百万円（前年同四半期は18億53百万円の損失）、四半期純損失は8億51百万円（前年同四半期は10億91百万円の損失）となりました。

セグメントの状況は次のとおりであります。

セグメント	連結売上高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
まいたけ	1,542	90.6
えりんぎ	708	93.8
ぶなしめじ	995	167.1
その他生茸	163	87.4
生茸計	3,410	105.2
加工食品	139	90.5
茸計	3,550	104.6
もやし・カット野菜	1,181	105.5
その他食品	277	98.5
食品計	5,008	104.4
その他	202	100.3
合計	5,210	104.2

#### ① 茸

国内の生茸の販売は、個人消費の低迷に加え昨年からの放射能風評被害により、販売状況は厳しい環境の中で推移いたしました。このような環境の中、まいたけ、えりんぎの売上高は減少いたしました。ぶなしめじにつきましては前述のとおり新菌への切り替え、新設備の導入により量産体制が整い、売上高は増加いたしました。

中国におきましては、吉林省長春市で生産・販売するえのき茸は販売方法の変更により売上高は減少いたしました。

以上により、茸の売上高は35億50百万円（前年同四半期比4.6%増）となりました。

#### ② もやし・カット野菜

もやし・カット野菜の販売は、春先の天候不順による野菜高騰の影響や、当社製品の安全性の高さが評価されたことにより、もやし・カット野菜の売上高は11億81百万円（前年同四半期比5.5%増）となりました。

#### ③ その他食品・その他

その他食品においては、前連結会計年度に震災復興需要のあった納豆の売上高が減少となり、その他食品の売上高は2億77百万円（前年同四半期比1.5%減）となりました。

その他の売上高は2億2百万円（前年同四半期比0.3%増）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて86百万円増加し、405億70百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1億円増加し、85億25百万円となりました。これは主に、現金及び預金が1億43百万円、商品及び製品が1億47百万円、繰延税金資産が5億80百万円増加し、受取手形及び売掛金が7億99百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて7百万円減少し、320億14百万円となりました。これは主に、有形固定資産（その他）に含まれる機械装置及び運搬具が1億56百万円、同じく有形固定資産（その他）に含まれるリース資産が3億11百万円増加し、建物及び構築物が1億23百万円、有形固定資産（その他）に含まれる建設仮勘定が3億74百万円減少したこと等によるものであります。

負債の部では、流動負債が前連結会計年度末に比べて26億48百万円増加し、190億43百万円となりました。これは主に、短期借入金が34億97百万円増加し、流動負債（その他）に含まれる設備関係支払手形が6億60百万円、同じく流動負債（その他）に含まれる未払金が1億42百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて16億6百万円減少し、183億12百万円となりました。これは主に、社債が3億67百万円、長期借入金が10億74百万円減少したこと等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて9億55百万円減少し、32億13百万円となりました。これは主に、利益剰余金が9億85百万円減少したこと等によるものであります。

### (キャッシュ・フローについて)

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前年同四半期末と比較して86百万円増加し、13億4百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### ①営業活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結累計期間における営業活動による資金は△5億77百万円（前年同四半期比58.2%増）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失△14億19百万円の計上や売上債権の減少額8億11百万円等によるものであります。

#### ②投資活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結累計期間における投資活動による資金の支出は10億10百万円（前年同四半期比57.4%減）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出9億88百万円等によるものであります。

#### ③財務活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結累計期間における財務活動による資金の収入は17億26百万円（前年同四半期比34.5%減）となりました。これは主に、短期借入金の純増加額35億15百万円、長期借入金の返済による支出11億48百万円、社債の償還による支出4億7百万円等によるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月11日付「平成24年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
(税金費用の計算)

税金費用については、「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」第19項の規定により、「中間財務諸表等における税効果会計に関する実務指針」第12項（法定実効税率を使用する方法）に準じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
(有形固定資産の減価償却方法の変更)

従来、当社及び国内子会社は、有形固定資産の減価償却方法について定率法（ただし、平成10年4月1日以後に取得した建物（建物附属設備は除く）と、それに対する資本的支出及びリース資産については定額法）を採用していましたが、当第1四半期連結会計期間より全ての有形固定資産について定額法に変更しております。

この変更は、主要な商品である茸の収穫実績を考慮し、生産数の急激な増減はなく安定的に生産されており、現有する茸生産設備や建物等について維持コストの見直しを行った結果、著しい陳腐化や物理的劣化が発生しにくいことが判明したため、時の経過に応じて均等に償却することがより適正な期間損益を反映できると判断したものであります。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の売上総利益は144百万円増加、営業損失は153百万円、経常損失及び税金等調整前四半期純損失はそれぞれ153百万円減少しております。

(売上計上基準の変更)

従来、当社グループの売上計上基準については、出荷基準を採用していましたが、当第1四半期連結会計期間より着荷基準に変更しております。

この変更は、売上計上に関する確実性を再検討した結果、着荷基準を採用することにより、売上の計上に関し客観性並びに確実性がより高まり、売上の実態をより適切に反映させることができると判断したものであります。

なお、この変更による影響額は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

### 3. 四半期連結財務諸表

#### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,195	1,338
受取手形及び売掛金	2,622	1,823
商品及び製品	1,287	1,434
仕掛品	1,864	1,805
原材料及び貯蔵品	684	760
繰延税金資産	<u>198</u>	<u>778</u>
その他	573	584
貸倒引当金	<u>△1</u>	<u>△0</u>
流動資産合計	<u>8,425</u>	<u>8,525</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	<u>13,002</u>	<u>12,878</u>
土地	<u>7,918</u>	<u>7,921</u>
その他（純額）	7,464	7,514
有形固定資産合計	<u>28,386</u>	<u>28,314</u>
無形固定資産	419	428
投資その他の資産		
その他	<u>3,314</u>	<u>3,369</u>
貸倒引当金	<u>△98</u>	<u>△98</u>
投資その他の資産合計	<u>3,216</u>	<u>3,271</u>
固定資産合計	<u>32,021</u>	<u>32,014</u>
繰延資産	36	29
資産合計	<u>40,484</u>	<u>40,570</u>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	959	1,018
短期借入金	10,001	13,498
未払法人税等	76	48
引当金	186	39
その他	<u>5,171</u>	<u>4,438</u>
流動負債合計	<u>16,395</u>	<u>19,043</u>
固定負債		
社債	3,600	3,233
長期借入金	14,181	13,106
退職給付引当金	48	53
役員退職慰労引当金	57	—
その他	<u>2,032</u>	<u>1,919</u>
固定負債合計	<u>19,919</u>	<u>18,312</u>
負債合計	<u>36,315</u>	<u>37,356</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,605	1,605
資本剰余金	2,262	2,262
利益剰余金	<u>1,954</u>	<u>969</u>
自己株式	<u>△1,514</u>	<u>△1,514</u>
株主資本合計	<u>4,308</u>	<u>3,322</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△8	△17
繰延ヘッジ損益	△30	△80
為替換算調整勘定	△167	△76
その他の包括利益累計額合計	<u>△205</u>	<u>△174</u>
新株予約権	64	63
少数株主持分	1	1
純資産合計	<u>4,169</u>	<u>3,213</u>
負債純資産合計	<u>40,484</u>	<u>40,570</u>

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	4,998	5,210
売上原価	4,820	4,718
売上総利益	178	492
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	98	149
運賃	550	604
報酬及び給料手当	460	359
賞与引当金繰入額	12	6
役員退職慰労引当金繰入額	4	7
雑費	738	572
販売費及び一般管理費合計	1,864	1,699
営業損失(△)	△1,686	△1,207
営業外収益		
受取利息	0	0
デリバティブ収益	—	4
固定資産賃貸料	21	19
雑収入	13	16
営業外収益合計	34	40
営業外費用		
支払利息	136	165
雑損失	65	84
営業外費用合計	201	250
経常損失(△)	△1,853	△1,416
特別利益		
新株予約権戻入益	0	0
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
投資有価証券評価損	2	—
固定資産除却損	1	2
固定資産売却損	8	0
特別損失合計	13	2
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,866	△1,419
法人税等	△793	△567
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,072	△851
少数株主利益	18	0
四半期純損失(△)	△1,091	△851

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	<u>△1,072</u>	<u>△851</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	△9
繰延ヘッジ損益	△23	△50
為替換算調整勘定	40	90
その他の包括利益合計	<u>20</u>	<u>30</u>
四半期包括利益	<u>△1,052</u>	<u>△820</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>△1,077</u>	<u>△821</u>
少数株主に係る四半期包括利益	24	0

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	<u>△1,866</u>	<u>△1,419</u>
減価償却費及びその他の償却費	563	442
賞与引当金の増減額(△は減少)	△195	△147
支払利息	136	165
売上債権の増減額(△は増加)	354	811
たな卸資産の増減額(△は増加)	18	△158
仕入債務の増減額(△は減少)	△162	△25
その他	55	<u>△30</u>
小計	<u>△1,097</u>	<u>△361</u>
利息の支払額	△124	△153
法人税等の支払額	△159	△34
その他の支出	△1	△28
営業活動によるキャッシュ・フロー	<u>△1,382</u>	<u>△577</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,359	△988
その他	△11	△22
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>△2,370</u>	<u>△1,010</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	4,349	3,515
長期借入れによる収入	—	40
長期借入金の返済による支出	△998	△1,148
社債の償還による支出	△277	△407
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△325	△91
その他	△113	△180
財務活動によるキャッシュ・フロー	<u>2,634</u>	<u>1,726</u>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	<u>△1,126</u>	<u>138</u>
現金及び現金同等物の期首残高	2,344	1,165
現金及び現金同等物の四半期末残高	<u>1,218</u>	<u>1,304</u>



(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象  
該当事項はありません。